

れんけい

題字：松尾信彦書


 香川県立中央病院
 Kagawa prefectural central hospital

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。本年も地域医療の中核を担う病院として、皆様と連携し、より一層地域住民の健康に貢献してまいりたいと考えております。

さて、令和7年は乙巳（きのとみ）の年で、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年を意味します。昨年、当院は現在の高松市朝日町へ移転して10周年を迎えました。

この10年間で、当院は地域における高度急性期医療の中核的な役割を担い、多くの患者さんを皆様からご紹介いただき、診療させていただきました。移転後10年を経過し、昨年は最新式の手術支援ロボット「ダヴィンチ Xi」に更新し、より高度な外科手術が可能となりました。また、ドクターヘリの運用や救急医療体制の充実により、重症患者の搬送受け入れ体制を強化し、地域全体の救急医療の向上に貢献してまいりました。

本年も、これらの取り組みをさらに発展させ、地域医療に貢献してまいります。

具体的には、以下の3点を重点に、病院運営に取り組んでまいります。

- ①「断らない救急」体制の強化：重症患者、多岐にわたる疾患に対応できる高度な医療体制の構築をさらに進め、地域の皆様に安心してご利用いただける救急医療を提供してまいります。
- ②地域より信頼される医療の提供：地域の医療機関からの高度医療の必要な患者さんの受け入れと診療を行い、また地域の医療機関との連携を加速させ、切れ目のない医療・療養につながるようなサービスを提供してまいります。
- ③医療の質の向上：最新の医療技術の導入、職員の教育研修の充実を図り、より安全で質の高い医療を提供してまいります。

昨今の医療を取り巻く環境は、コロナ禍の影響で、外来受診抑制や少子高齢化、医療費の高騰等により医療需要に大きな変化が見られています。このような状況下において、当院は地域の皆様と連携し、持続可能な医療システムの構築を目指してまいります。

皆様におかれましても、本年が素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

今後とも香川県立中央病院へのご支援をよろしくお願いいたします。



令和7年

院長 高口 浩一



産後ケア事業始めました ～子育てのスタートをお手伝い～

産科診療科長 高田 雅代
4階病棟科長 川原 直美



妊産婦メンタルヘルスの重要性

妊娠・出産・産後は、からだも生活スタイルも大きく変化し、期待や不安、幸福、心配など、こころの多様な変化が起こるものです。産後数か月頃までに、気分が沈み、日常生活で興味や喜びを感じることができなくなる、食欲低下、不眠、疲れやすく気力が低下するなど「産後うつ」を発症することがあります。自殺や児童虐待のリスクが増すことが知られており、背景要因として精神疾患の既往は重要で、特に育児不安が強い方には注意が必要とされています。妊産婦のメンタルヘルスは産婦人科だけでなく、精神科、小児科、助産師、保健師、看護師、行政等、多職種で対応する必要があり、よりよくしていく取り組みが行われています。

妊娠中の妊婦健康診査に加えて、香川県では2019年4月以降、産後のからだところの状態を知るための産婦健康診査（産後2週間・4週間健診）の受診に係る費用の公費負担が開始され、受診してもらうことで、メンタルヘルスに問題を抱えた妊産婦を早期に発見、対応することを行ってきました。

しかし、日本の妊産婦死亡（妊娠中又は妊娠終了後満42日未満の女性の死亡）は世界トップレベルの低さにもかかわらず、ここ4年は自殺による死亡が産科危機的出血による死亡の比率を超えており（図1）、後発妊産婦死亡（妊娠終了後42日以上1年未満に、直接または間接的な原因による女性の死亡）の原因の5割は自殺による死亡であることが判明（表1）し、周産期に携わる我々は大きな衝撃を受けています。

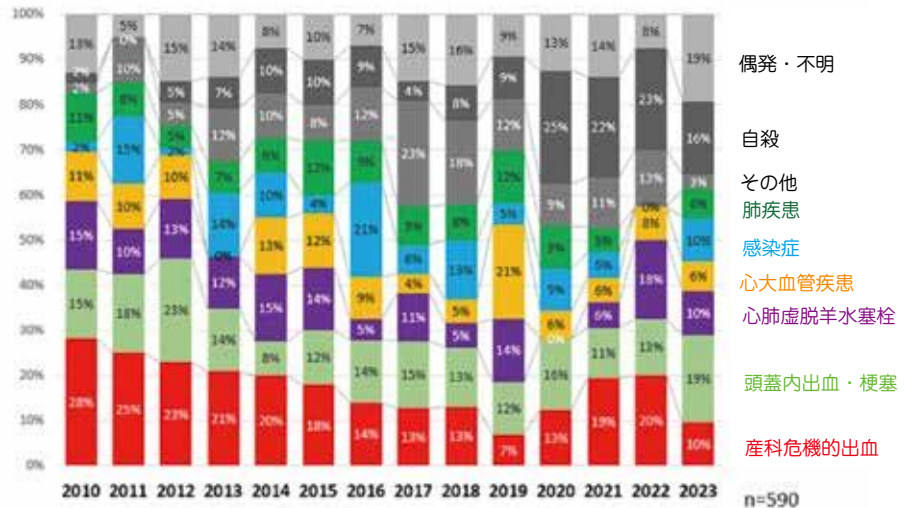


図1 妊産婦死亡の原因別頻度の推移（割合）

母体安全への提言 2023 より

まずは、産後に感じた不安や負担を軽減することが大切です。産後2週未満では「授乳に関すること」が最多であり、自分の体のトラブル、疲労、不眠といったことが多いです。このような産婦のサポートとして、産後ケア事業が提供されています。実施主体は市町村ですが、適切な実施が期待できる病院、診療所、助産所等に事業の全部又は一部を委託しています。当院では2024年7月から、当院で分娩された方対象ではありますが、産後ケア事業を開始しました。

表1. ICD-10 分類によるわが国の妊産婦死亡の原因

母体安全への提言 2023 より

Group 2	高血圧性疾患 HELLP症候群(O14.2), くも膜下出血(I60)	4
Group 5	自殺(X)	17
Group 6	産科麻酔(O74)	1
Group 7	悪性疾患 (Indirect) 胃癌(C16)、肺癌(C50)、子宮頸癌(C53)	3
	致死性不整脈 (I61)	1
	周産期心筋症(O90)	1
	肺高血圧 (I27)	1
	脳出血 (I49)	1
	くも膜下出血 (I60)	1
Group 8	不明 (O95)	3

n=33

※妊娠終了後42日以上1年未満に、直接または間接的な原因による女性の死亡

産後ケア事業の目的

母子保健法に基づき、一定の期間、病院・診療所・助産所、その他自治体が設置する場所等（保健センター等）又は対象者の居宅において、助産師等の看護職が中心となり、母子に対して産婦の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、産婦自身がセルフケア能力を育み、母子の愛着形成を促し、母子とその家族が健やかな育児ができるよう支援することです。具体的には、母乳管理（授乳の指導及び乳房のケア）・沐浴の仕方・児のお世話について、自宅へ帰っても困らないように支援、母親の身体的な回復のための支援、母親の話を傾聴する等の心理的支援、家族等の身近な支援者との関係調整、地域で育児をしていく上で必要な社会的資源の紹介等を行います。



産後ケア事業の具体例

短期入所（ショートステイ）型、通所（デイサービス）型（個別・集団）、居宅訪問（アウトリーチ）型（利用者と日時を調整し、利用者の居宅を訪問して保健指導、ケアを行う）の3種類の実施方法があります。当院は短期入所（ショートステイ）型で、分娩入院退院後、引き続き病棟で産後ケアを実施するようにしています（表2）。分娩入院の退院前には、EPDS（エジンバラ産後うつ病質問票）を用いて、産婦の抱える不安が何か、産婦の言葉で語ってもらい、具体的に把握して産後ケアにつなげていくようにしています。EPDSを用いた聞き取りで、不安の多くは育児に関すること・退院後の支援に関することですが、それと同時に、自分が体験した分娩についての後悔や反省を述べられる方もいます。自身の体験したことは、産後うつに影響する要因となるため、妊婦のバースプランを確認して「満足のいく出産体験」を提供できるよう支援を行っています。妊娠・分娩・産褥と女性にとって大切な時期に関わってきた産科医・助産師だからこそできるケアを継続して実施していきたいと考えています（図2）。

表2 当院での産後ケア内容

産婦へのケア	児へのケア	育児サポート
血圧・貧血・疼痛管理 休息支援 精神支援（傾聴、家族への支援依頼、メンタルクリニック受診調整） 生活指導	体重・黄疸・排泄チェック 沐浴・スキンケア 哺乳指導、哺乳必要量について指導	授乳指導 沐浴指導（沐浴実施）

●産後ケア事業利用中の医療行為

産後ケア利用中に母乳への医療介入が必要となった場合、産後ケアを中止し、通常の保険診療となる。産後ケア事業に係る利用者負担額（実費負担額を含む）が必要となる他に別途、本人負担の医療費が発生する。



図2 授乳介助

最後に

2023年の全国の出生数は727,277人で、前年より43,482人減少し、香川県においても出生数は5,428人と、前年に比べ456人減少し、過去最少を更新しています。晩婚化（高齢妊娠の増加）や核家族化、女性の働き方の変化、経済的な負担・不安定さなど、子供を産み育てることの様々な難しさが取り沙汰されており、少子化は予想を超えて進行するばかりで、ますます深刻な問題となっています。

少しでも妊産婦のニーズに応えるべく、試行錯誤を続けていく所存ですので、今後とも引き続き連携のほど、よろしくお願い申し上げます。

病院祭を開催しました！

業務課 涌嶋 沙和

昨年11月9日（土）に第12回病院祭を開催しました。病院祭は、本県の中核病院としての当院の役割や医療機能等について、広く県民の皆様にご理解いただくとともに、県民の皆様、地域の医療機関の方々とのより一層の連携強化を図ることを目的に開催しており、コロナ禍は中止していましたが、今回は5年ぶりの開催となりました。当日は晴天にも恵まれ、多くの方にご来場いただきました。

毎回人気の白衣体験、薬剤師体験などのキッズコーナー、骨密度測定や肝炎ウイルス検査などの健康チェックコーナー、DMATやフライトドクターの服を展示した防災コーナー、ヘリポートやダヴィンチなど最新の医療機器などを巡る院内ツアーのほか、今回は当院のDMAT隊が昨年1月に発生した能登半島地震に派遣されたこともあり、少しでも被災地の復興支援になればと「石川県復興応援物産展」を催し、来場者の方にもご支援をお願いしました。また当院DMAT隊が能登半島地震の際に使用し、クラウドファンディングにより皆様のご支援で購入できたドクターカーのお披露目も出来ました。



香川県赤十字血液センター、高松南高校などの関係機関・団体の皆様にも出店をいただくとともに、当院で活動いただいているボランティアの方には、水彩画教室や本格的なお抹茶が楽しめるお茶席を催していただくなどご協力をいただきました。

その他、ステージイベントでは小さなお子様に人気のあるバルーンアーティストによるバルーンパフォーマンスのほかキッズダンス、かがわ総文祭2025、フラダンス、高松市主催デリバリーアーツ瀬戸フィル音楽会の演奏が行われ、大変盛り上がりしました。当院として、感染に注意しながら、ご来場いただいた皆様楽しんでいただける各種イベントを職員一同、心を込めて準備を行いましたので、来場者の皆様が楽しめた一日になっていれば幸いです。

当院では、このようなイベントを通して、県民の皆様、地域の医療機関の方々との交流・連携を大切にし、皆様から愛され、信頼される病院となるよう職員一同取り組むとともに、今後も患者さんやご家族の方にも安らいでいただけるような場を提供できるよう努めてまいります。



認定・専門看護師コラム

その11

「集中ケア認定看護師の活動について」

集中ケア認定看護師 高原 謙悟

急性期医療とは、命に直結する症状や疾患に対して迅速に適切な治療を選択し実施する期間を指します。当院は三次救急医療機関であり、常に生命に関わる重症患者さんの受け入れをおこなっているため、重篤化を回避するために専門的な知識を活用し、早期回復を目指した適切なケアをチームで提供できるように活動しています。また、患者さんと同様に、不安を抱えているご家族を支えることも重要な役割のひとつと考えています。一般病棟にもクリティカルな状況にある患者さんはいるため、そのような患者さんの重症化や合併症につながる変化に気付くことも重要です。集中治療領域から退院後の生活を見据え、ケアを受ける場所が異なっても継続性と一貫性をもったケアを提供できるように心がけています。

その他、多職種からなるRST（呼吸ケアチーム）の一員として活動しています。具体的には、人工呼吸器や酸素吸入器を装着しておられる患者さんのベッドサイドへ訪問し、人工呼吸器管理や機材選定の提案、早期に離脱できるためにはどうしたらよいか、人工呼吸器離脱の促進および安全管理、呼吸ケアに関する助言や支援を行っています。



リハビリテーションのおハナシ その4 「作業療法士の具体的なお仕事内容」

リハビリテーション部 作業療法士 柴原 章平

作業療法士は日々どんな仕事をしているのでしょうか？

作業療法士の名称になっている作業の定義は、「仕事、趣味、遊びなど、人が営む生活行為とそれを行うのに必要な身の活動が含まれる」とされています。

当院の作業療法士は、患者さんが怪我や病気をする前に取り組まれていた作業が円滑に再獲得できるよう様々なリハビリテーションを行っています。脳卒中によって手に麻痺が生じた患者さんには、麻痺した筋肉を刺激する電気刺激療法や手の運動を行います。手の骨折をした患者さんには、骨折した部位が正しい位置で保てるようスプリント（装具）を医師と相談し、オーダーメイドで作製していきます。怪我や病気で車の運転が不安になった患者さんには、運転の再開に向けた運転支援を行っています。日々の仕事の中で患者さんの麻痺した手が動くようになり、自分でご飯が食べられるようになったときや、趣味や仕事が再開できたときは、とてもうれしい気持ちになります。当院の作業療法士は全員で6人と少人数ではありますが、各自が勉強会や学会への参加を行い、自己研鑽に励んでいます。今後も患者さんに満足いただけるリハビリテーションが提供できるよう日々努力を行っています。



薬 剤 部 だ よ り

その7

薬剤部 坂本 梓

トレーシングレポートを通して繋ぐ、安心・安全の薬物療法

当院では、2019年より、トレーシングレポートの運用を開始しています。レポート数は年々増加し、近年は年間1000枚を超える枚数を地域の保険薬局から送っていただいています。

レポートの内容は、飲み忘れに対する用法変更の提案や、併用薬の相互作用、症状改善などにより不要となった薬剤の削除提案、副作用を考慮する症状の報告など、多岐に渡っています。また、吸入やインスリン自己注射の手技ができていて、副作用の出現がなく内服が継続できているといった報告もいただいています。

薬剤部では、レポートを確認、情報を集約し、次回の外来受診までに処方医師へ情報提供を行っています。診察で患者さんが伝えきれなかったことや診察後の患者さんの変化について、保険薬局と病院の薬剤師が連携し、患者さんの視点に立った治療を支援しています。

併せて、2019年より院外処方箋の問い合わせに係るプロトコル、2021年より院外処方の減数調剤の運用を開始しています。これらの運用により、保険薬局での形式的な問い合わせ等の負担が減り、その時間を患者さんへのフォローアップへ充てることで、より一層充実した薬学的ケアに結びつくよう取り組んでいます。



コラム おつうじにまつわるうんちく話

その29

消化器内科 部長 田中 盛富

前回のマグネシウムのお話の続きです。

農業や園芸をされている方にはおなじみですが、植物を栽培する前には「苦土（くど）石灰」を散布して酸性の土壌を弱酸性の土壌へと変化させる必要があります。「苦」をもって植物が育つ世界を変革するという図式は、荒廃した世界を苦悩で中和するという逆説的で壮大な物語のテーマを想像させますが、苦土とはマグネシウムのことで、同じ「苦」でも「にがみ」に関連しているようです。アルカリ化に重要なのは石灰のほうです。

マグネシウムは植物にとって必要不可欠な元素ですが、光合成を行う葉緑体に特に多く含まれ、光合成の過程においてマグネシウムは補酵素として働きます。光合成は無機物から有機物へ、光エネルギーから化学エネルギーへの大転換を行う世界を支える重要な機能ですが、残念ながらマグネシウムは植物の生育に必要な三大栄養素（窒素、リン酸、カリウム）の中には入れてもらえていません。

私たちの体でもマグネシウムは補酵素として働き、エネルギー代謝、神経、筋肉、血管などの機能の維持にかかせませんが、臨床で重要な電解質異常においては、他のナトリウムやカリウム、カルシウムと比べると影が薄く、マグネシウムの異常が問題にされることはあまりありません。

このように重要な働きをしているにもかかわらず、目立たない気の毒なマグネシウムですが、下剤として使用される場合は主役を務めることができます。前回お話したように酸化マグネシウムとして使用される場合、胃酸と反応することによりマグネシウムは便に水分を含ませる緩下剤（非刺激性下剤）として働きます。ご高齢の方や腎機能障害のある方は高マグネシウム血症を発症しやすいことから注意が必要ですが、そうでなければ第一選択として使用できるお薬です。効果が乏しければ別の非刺激性下剤を使用します。

ただ、酸化マグネシウムとして内服された場合、マグネシウムの一部は体内に吸収されても、大部分は利用されるだけ利用され、最後は便とともにトイレへ流され捨てられる運命を背負っており、マグネシウムはやはり気の毒なのです。



医師の人事異動

転入 (1月1日付)

なかむら だい
中村 大
(整形外科)

医療セミナーのご案内

日 時 ●令和7年2月20日(木)

19:00~

講 師 ●血液内科 部長 奥 真紀先生

演 題 ●「悪性リンパ腫の治療の進歩」

医療セミナーのページがご覧いただけます！



広報誌「れんけい」
バックナンバーが
ご覧いただけます。

発行者 香川県立中央病院 高口 浩一
編集 広報委員会

〒760-8557 高松市朝日町一丁目2番1号
TEL (087)811-3333 FAX (087)802-1160